

武田理沙
piano, synthesizer

坂田明
alto sax, clarinet, voice

※マスクの着用を必ずお願いいたします。
※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2021 11月24日(水)

開場 19:30

開演 20:00

(90分1ステージ小休止有) (1drink 600 ~)

MC=3300円+2drinks order

CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



武田理沙

北海道出身。3歳よりクラシックピアノを始める。大学時代はドラマーとして活動。2011年上京し、ブルース・ジャズ・インプロヴィゼーション主体のセッションに多数参加する。様々な形態のバンド/ユニットで活動する傍ら、2016年よりソロ活動を開始。即興演奏、映像作品に合わせ演奏するパフォーマンス、FRANK ZAPPAのピアノカバーなどが世界中で好評を博している。これまでに作曲/編曲/演奏/録音など全てを一人で手掛けたアルバム「Pandora」(18)「Metéoros」(19)を発表、複雑なメロディとハーモニーに漲るリズム、音列などが構築された末に、これらが自由に、しかし緻密なアンサンブルで具体化された大作として大好評を得る

坂田明

1945年、広島県呉市出身、広島大学水産学科卒業。1969年上京後「細胞分裂」を結成。1972年～79年山下洋輔トリオに参加、以後「wha-ha-ha」「DA-DA-DA ORCHESTRA」「MITOCHONDRIA」など様々なグループの結成、解体を繰り返しながら、世界のあちこちであれこれしながら今日に至る。現在はレギュラーグループ、ARASHI (Johan Berthling、Paal Nilssen-love) 梵人譚 (Jim O' Rourke、Giovanni Di Domenico、山本達久)、坂田明 COCODA (大森菜々、かわいしのぶ、坂田学)を中心に数多くのセッションを展開中。著書には「ミジンコの都合」(共著 日高敏隆 晶文社)、「クラゲの正体」(晶文社)、「瀬戸内の困ったガキ」(晶文社)等がある。近著は「私説ミジンコ大全」CD「海」付(晶文社) DVD「MIJINKO a Silent Microcosm」東京薬科大学生命科学部客員教授、広島大学大学院生物圏科学研究科客員教授。

公式サイト

<http://www.akira-sakata.com>
akirasakata1.bandcamp.com